

第35回新薬創製談話会開催報告

新薬創製談話会は1993年に発足した勉強会であり、新薬発見に情熱を燃やす産官学の研究者が集まって、研究振興、ネットワーク、若手研究者の育成を図る場になっています。今年度は令和7年7月31日～8月1日に、公益財団法人日本感染症医薬品協会との共催で第35回新薬創製談話会を開催しました。特別講演（2件）、招待講演（6件）、若手研究者によるポスター発表（30件）を企画し、がん免疫、シグナル伝達異常など様々な疾患分野の治療薬シード創出研究だけでなく、天然物の生合成、微生物培養技術開発、微生物休眠遺伝子活性化等に関する研究成果が発表・討論され、情報交換が行われました。会には天然物化学やケミカルバイオロジー研究に携わる日本の主要な大学、国公立の研究所、製薬企業等より81名の研究者が集まりました。当該分野の最新の情報を得るだけでなく参加者間の交流も深まり、大変有意義な談話会となりました。

第35回新薬創製談話会 “新時代の新薬を考える”

1. 日時：令和7年7月31日～8月1日
2. 場所：伊東温泉 「ラフォーレ伊東温泉 湯の庭」
3. 運営団体：
主催 第35回新薬創製談話会実行委員会
共催 公益財団法人 日本感染症医薬品協会
4. 参加者：81名



実行委員長：荒井 緑（慶大）、田代 悦（昭薬大）
常任幹事：掛谷秀昭（京大）、川田 学（微化研）、白井健郎（筑波大）、伊藤昭博（東薬大）、
浅見行弘（北里大）、大城太一（北里大）、二村友史（理研）
幹事：田端祐二（Meiji Seikaファルマ）、谷口昌要（大鵬薬品工業）、青木雅弘（AMED）、
勝俣良祐（エーザイ）
監事：西村慎一（広島大）、村松康範（第一三共）
顧問：長田裕之、塩見和朗、供田 洋、井本正哉、日野資弘、及川 信三、吉田 稔、早川 洋一
